

なぜわたしが
オブジェクト指向に目覚めたか

～ある本との出会い～

串田幸江(くっしー)

大事なことはまず最初に

- 謝辞
 - 豆蔵の井上さん、わたしをオブジェクト指向に目覚めさせてくれてありがとう。
 - でも、お会いしたことはありません。
- 告知
 - PFPワークショップ開催
 - 詳しくは後で捕まえて聞いてください。
- あのネタはやらない。

そんなわたしの自己紹介



これまでの失敗

- なんでオブジェクト指向を？
 - 流行だ(った)から
 - おもしろそうだから
- 書籍選択の失敗
 - UMLやオブジェクト指向言語を学べばいいということではない
 - オブジェクト指向の良さを知ることができなかった
- つまり、必要性を感じられなかった
 - オブジェクト指向が何を解決するのか

この本に出会った！

いちばんやさしい
オブジェクト指向の本

著者: 井上樹

出版社: 技術評論社 (2007/1/19)

ISBN-10: 477413015X

ISBN-13: 978-4774130156



本当にいちばんやさしい！

- ページ数が少ない
- 手法は思い切って、他の本に任せている
- 例がビジネスとしてイメージしやすい
 - ケーキ屋さんモデル
 - 車モデルでは「サービス」が見えない

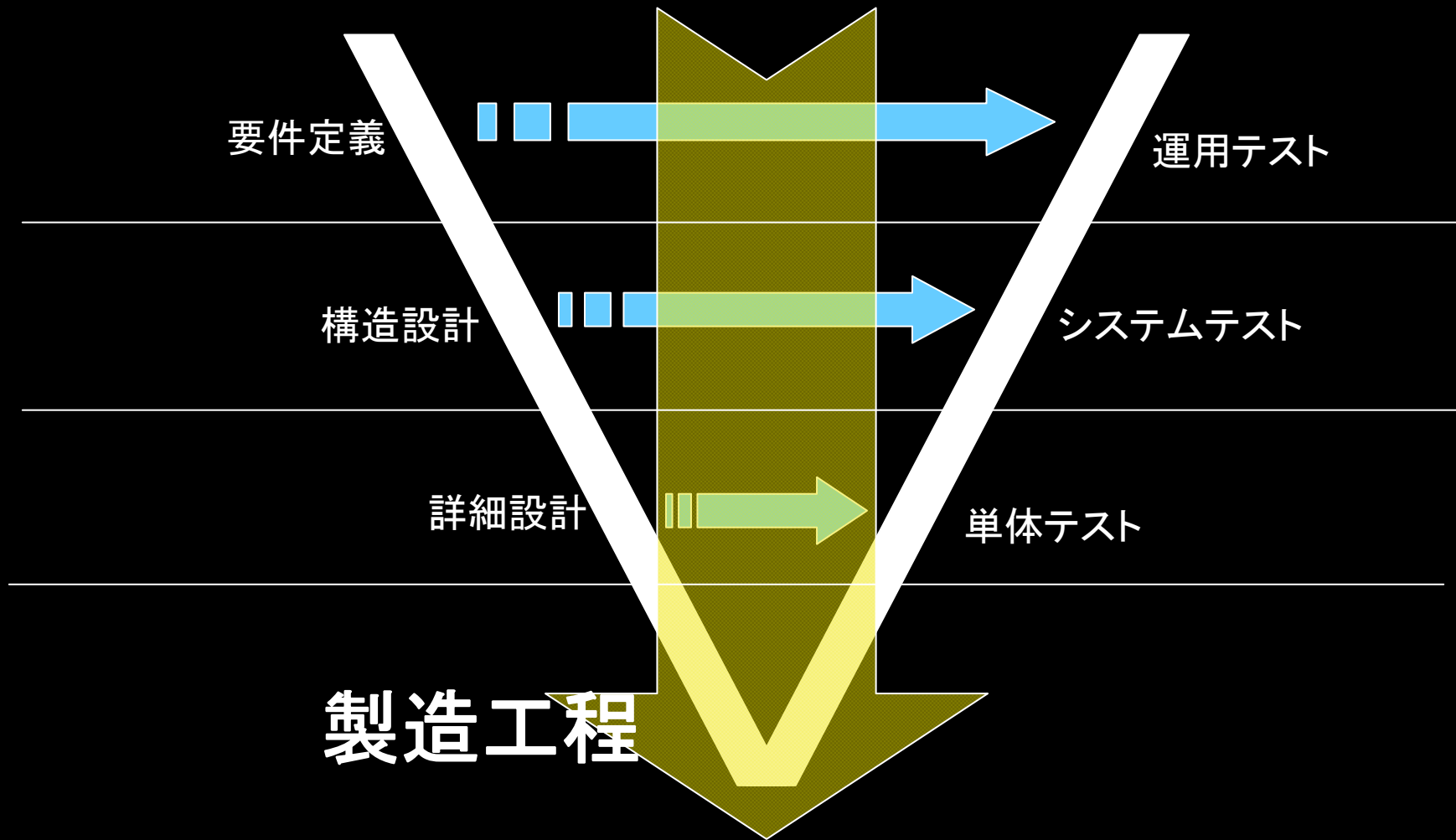
オブジェクト指向ができるまでの歴史

- WFにはできなかったこと
 - コンピュータにどう解釈させるかが問題の中心
 - 使う人の存在が希薄
 - 作り込み不足の大半は、使うことへの考慮不足

オブジェクト指向が解決すること

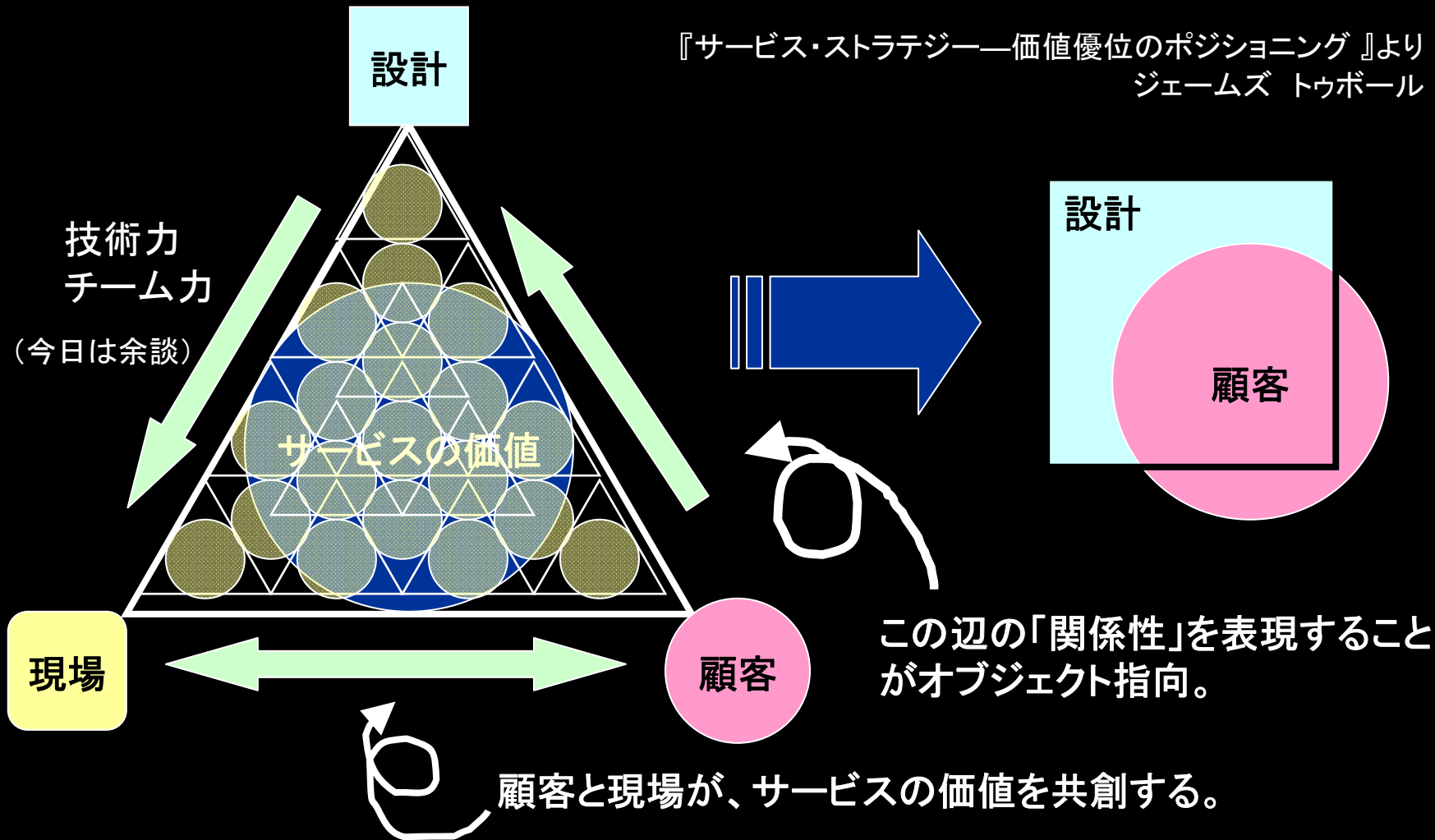
- 「世界」をモデル化
 - 人がシステムをどう使うか、が問題の中心
 - 「世界」を理解できるので、楽しい
- シーケンスだけでなく関係性
 - 各レイヤーのつながりを表現できる
 - 開発V字モデルの横つながりだけでなく、縦のつながり

V字モデルの解釈



サービスの価値とシステムの価値

『サービス・ストラテジー—価値優位のポジショニング』より
ジェームズ トウボール



ぜひ読んでほしい人

- オブジェクト指向の超初心者

- 本質を知って欲しい
- 必要性を感じて欲しい
 - もしかしたら、いらないかもよ
 - 必要と思ったら、手法を勉強しよう

この辺には、牛尾さんの「オブ脳」がおすすめ

- 慣れっこになってしまった人

- 基礎を忘れてはいけない
- 価値を忘れてはいけない
- 楽しさを忘れてはいけない

まさに「原点に帰ろう！」

ご清聴ありがとうございました。